

大館市教育委員会会議録

日 時 令和7年10月31日（金）
午後1時30分
場 所 大館市役所本庁4階
会議室401・402

大 館 市 教 育 委 員 会




大館市教育委員会会議録

1	開会の日時 及び場所	日 時 場 所	令和7年10月31日（金） 大館市役所本庁4階	午後1時30分 会議室401・402
2 出席委員の氏名				
教育長職務代理者	山 田 和 人		委 員	工 藤 啓 子
委 員	真 田 かずみ			
3 欠席委員の氏名				
委 員	小笠原 正 卓			
4 委員以外の 出席者職氏名	(なし)			
5 出席した職員の職氏名				
教 育 長	長 岐 公 二	学校教育課長補佐	柴 田 賢	
教 育 次 長	若 松 健 寿	学校教育課長補佐	工 藤 貴 胤	
教 育 監	野 呂 謙 一	生涯学習課長補佐	羽 沢 秀 則	
教育総務課長	北 林 香 子	中央公民館長	外 館 志	
学校教育課長	鈴 木 明	歴史文化課長補佐	鳥 潟 幸 男	
教育研究所長	米 澤 貴 子	教育総務課総務係長	三 浦 伸 介	
生涯学習課長	畠 山 慶 子			
歴史文化課長	関 智 仁			
教育総務課長補佐	宮 崎 史 人			
6 会議録署名委員 教育長・工藤委員				
7 会 議 書 記 教育総務課 総務係長 三浦 伸介				
8 教育長報告				
(1)	嘉手納町学習体験交流事業について			
(2)	令和7年度ラジオ体操会終了大会について			
(3)	ニホンザリガニ人工生息地の調査について			
9 議 事				
協議第14号	令和7年度12月補正歳出予算要求の概要について			
10 その他				
(報告) 第2回市長との政策協議について				
(口頭) 子どもハローワークのきりたんぽまつりでのボランティア活動について				
次回 11月21日（金） 長木公民館 第1・第2研修室				

教育長が教育委員会に報告する事項

令和7年10月31日



担当課（学校教育課）

報 告 事 項	報 告 内 容		
嘉手納町学習体験 交流事業について	1 期	日 10月8日（水）～10月10日（金）	
	2 交流実施校	釈迦内小学校、北陽中学校	
	3 交流者（来校者）数		
		釈迦内小へ	北陽中へ
	児 童 生 徒	5年5名（嘉手納小3 屋良小2）	1年5名（嘉手納中5）
		6年5名（嘉手納小3 屋良小2）	2年5名（嘉手納中5）
	教 職 員	6名（嘉手納小3 屋良小3）	3名（嘉手納中3）
	教育委員会	3名	合計 32名
	4 活動内容		
	期日	釈迦内小	北陽中
10/8	歓迎集会 	歓迎集会 	
10/10	稲刈り 	通常授業 	
5 招へいについて	<ul style="list-style-type: none">・9月9日（火）～9月13日（土）（移動日含む）・団長 北陽中学校 校長 田中覚 釈迦内小：教諭 戸田和希、北陽中：教諭 大沢優哲		
6 感想等	<ul style="list-style-type: none">・嘉手納町の児童生徒からは、「みんなで勉強するんだという雰囲気」に学校中が包まれている」「だから恥ずかしがらずに手が挙がるし、それが自然で当たり前なことにびっくりした」「嘉手納に戻ったら実践したい」などの感想が絶え間なく聞こえていた（嘉手納町指導主事談）。・今回は3年間の事業最後の年だったが、児童生徒と教職員にとって学びの多い大館市との交流を継続したいと強く思うので、来年2月に嘉手納町の教育長が大館市を訪問し、事業継続を締結できるよう全力で手続きを進めたいとのうれしい決意表明があった。		

教育長が教育委員会に報告する事項

令和7年10月31日

担当課（中央公民館）

報 告 事 項	報 告 内 容
令和7年度ラジオ体操会終了大会について	<p>10月4日（土）城南小学校グラウンドにて、令和7年度ラジオ体操会終了大会を開催しました。</p> <p>本大会は、ラジオ体操の普及を通じた市民の健康増進及び参加者相互の交流を深めることを目的として、毎年春の開始大会と合わせて実施しております。</p> <p>当日は肌寒く霧が深い天候となりましたが、約50人の方々にご参加いただきました。</p> <p>永年継続参加者表彰では、今年度の受賞者3名（15年継続1名、10年継続2名）を代表して、有浦三丁目町内会の佐藤弘志氏へ賞状を授与しました。</p> <p>その後、大館市ラジオ体操の会の大沢睦子氏と同会会員による模範演技に合わせて、ラジオ体操第一・首の体操・ラジオ体操第二を行いました。</p> <p>小学校行事による出校日と重なったことに加えて、クマの出没数増加などの不安要素もあり、参加者は例年よりも少ない結果となりましたが、全員が元気に声を出しながら体を温めました。</p> <p>【概要】 令和7年10月4日（土）午前7時00分～8時00分 城南小学校グラウンド</p> <p>【来賓】 大館市ラジオ体操の会 会長 渡邊 美和子 氏</p> <p>【参加団体】 大館市ラジオ体操の会、さくらクラブ、 柳町公園ハツラツ会、常盤木町町内会、 有浦三丁目町内会、萩野台町内会、 東町こども会 計7団体 約50人</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>佐藤氏へ表彰状授与</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>霧の中で体操をする参加者</p> </div> </div>

教育長が教育委員会に報告する事項

令和7年10月31日

担当課（歴史文化課）

報 告 事 項	報 告 内 容
ニホンザリガニ人工生息地の調査について	<p>9月20日（土）に、第1人工生息地でニホンザリガニの個体数確認調査を実施しました。</p> <p>コンサルタント会社に委託していた調査を、令和5年度からは大館鳳鳴高等学校生物部の協力を得て行っており、同部による調査は、今回で3回目となります。</p> <p>これまでの調査では、令和4年度に27匹、令和5年度に41匹、令和6年度に35匹のニホンザリガニが確認されており、今回の調査では48匹の生息を確認したことから、第1人工生息地の生息環境は良好に維持されているものと考えられます。</p> <p>また、今年の8月に完成した池内道下の第2人工生息地でのモニタリングでは、15～20匹のニホンザリガニの生息が確認されました。</p> <p>ニホンザリガニの捕獲や病原菌が持ち込まれる恐れがあるため、これまで場所を非公表としていましたが、フェンスや門扉の設置により環境が整ったため、今後は、第2人工生息地での活動を積極的に発信し、文化財保護意識の醸成に活用しながら、良好な生息環境を維持したいと考えています。</p> <p>今後も引き続き指定地水系などで生息調査を行い、生息環境を把握するとともに、飼育展示などを通してニホンザリガニ保護の意識を啓発するよう努めてまいります。</p> <p>・第1人工生息地・・・相染沢中岱</p> <p>※第1人工生息地の場所は非公表</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>第1生息地</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>捕獲状況</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>捕獲個体</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>計測</p> </div> </div>

議 事 の 経 過	
	開会 午後 1 時 3 0 分
教育長	<p>ただ今より教育委員会会議を始めます。</p> <p>会議録署名委員については、私と工藤委員にお願いします。</p> <p>会議録についていかがだったでしょうか。</p> <p>（「異議なし」の声あり）</p> <p>それでは承認とさせていただきます。</p> <p>では、4 の教育長の報告事項の説明をお願いします。</p>
教育監及び各 課長	<p>「(1) 嘉手納町学習体験交流事業について」</p> <p>「(2) 令和 7 年度ラジオ体操会終了大会について」</p> <p>「(3) ニホンザリガニ人工生息地の調査について」</p> <p>を、資料により報告)</p>
教育長	ご意見、ご質問等はございますか。
委員	嘉手納町学習体験交流事業についてお伺いします。なぜ嘉手納町は大館市を選んで来てくださるのか、その理由について改めて教えてくださいませんか。
教育監	平成 2 6 年度に全国学力・学習状況調査の結果を受けて、嘉手納町から教育長や議員の方が大館市に視察に来て、それがきっかけとなってスタートしました。そして、平成 2 7 年度から教員及び子どもたちの交流が始まったと記録されています。
委員	大館市の教育に魅力があるから、こうして毎年来てくださるのだと思いますが、ふるさとキャリア教育や子どもハローワークなどの様々な施策がある中で、嘉手納町は特にどの部分に引かれて来ていると認識していますか。
教育監	感想の中にもございましたが、子どもたちの集団づくりと、教員も含めた安定感、居場所づくり、絆づくりというものがしっかりと機能した上での、学びに向かう子どもたちの姿勢と学び合う姿だと思います。そこが嘉手納町の教員と子どもたちにとって非常に勉強になり、集団での学びという面で得るものが大きいのだと伺っています。
委員	分かりました。なぜこのような質問をしたかと言いますと、午前中に花岡小学校の子どもたちによる鳥潟会館のガイドツアーを見学して来たのですが、子どもたちはあるヒントを与えられたことによって、それを自分たちで議論し合うことで、今回のガイドツアーを作り上げたのだそうです。子どもたちが自ら考えて行動を起こして、それを全学年で話し合うというスタイル

教育長	<p>が、学校の中ででき上がっているというお話も校長先生から伺いました。</p> <p>このようなプロセスが各学校で行われているということや、子どもたちが自立心を持って学びを自らのものとすることに、嘉手納町は非常に大きな関心を持っているのかもしれないと考え、質問をさせていただきました。</p> <p>一応捕捉しますと、嘉手納町にとって大館市との交流の最大の目的は、やはり全国学力・学習状況調査におけるペーパーテストの成績を向上させることです。大館市への視察を決定する際には、教育委員会だけではなく、嘉手納町議会議員の視察も別個に行われましたので、きっかけはそこです。</p> <p>そして、実際に交流が始まり、大館市で子どもたちと教員が授業を行うと、集団で学んでみんなで学びを作っていくというその姿勢に大きな感動をしたのです。嘉手納町の子どもたちが授業の中で学校では見せない積極的な姿を示し、子どもたち自身も「こんな勉強を向こうでもやりたい」という強い想いを持って帰ったという経緯があり、それから毎年交流を行うようになりました。</p> <p>嘉手納町は、勉強だけではなく子どもハローワークにも極めて大きな興味を持っていて、一昨年度にはついに嘉手納版の子どもハローワークが開始されました。授業の形、子どもたちの学び、そして教育委員会の施策、これが嘉手納町が交流を継続している大きな理由だと思います。</p>
委員	<p>私にとっても深い学びになりました。</p>
委員	<p>関連になりますが、様々な成果が出ていて素晴らしいと思います。今の話を伺って思ったのですが、北陽中学校での授業に感動して十数年間交流を続ける中で、嘉手納中学校の授業の様子はどの程度変化してきているのでしょうか。分かる範囲で結構です。</p>
教育長	<p>嘉手納町の小学校は大館市に近い形になっています。成績も上がっていて、大きな成果が出ています。子どもたちの様子も、大館市の子どもたちとほとんど変わりありません。ペーパーテストの点数に違いがあるというだけです。</p> <p>しかし、中学校は依然として厳しい状態にあります。秋田の教員が行って、こうやって授業をするんだよという説明をして、実際に授業を行うと、机に伏している生徒も顔は上がります。今まで一度も挙手したことのないクラスが挙手をするようになります。これは、秋田から来た先生なのでそうしているのだと思いますが、それでもみんなで学ぶというスタイルを渴望している生徒が必ずいるということは、実際に行ってみると分かります。</p>
委員	<p>すぐに生徒の姿勢には現れなくても、向こうにしてみれば課題が具体的に見えてきますから、交流している意義はありますね。</p>
教育長	<p>10人の選ばれた中学生が大館市に来て、そういう学びを体験した生徒たちは、自分たちの学校でもこれをやりたいと強く思っているのです。</p>

	<p>そして、向こうへ帰ると実際にそれをやろうと思うのですが、残りの490人は体験していないため、なかなかうまくいかずに思い悩む生徒もいるようで、そのフォローアップを教員がしなければいけないという話を以前聞いたことがあります。</p>
委員	<p>向こうのご意向もあるでしょうけれども、受け入れられる限りは受け入れて欲しいと思います。</p>
委員	<p>ラジオ体操会終了大会についてお伺いします。ラジオ体操というのは、子どもからご高齢の方までみんなが使える良いツールだと思っています。私も子どもの頃は、夏休みになると毎朝町内会館の前に集まってみんなでラジオ体操をしていましたので、あの音楽が流れてくると体が自然に動きます。</p> <p>当日は城南小学校が出校日だったこともあり、写真には子どもたちの姿が写っていませんが、今の子どもたちはラジオ体操に触れる機会というのがあるのでしょうか。</p>
中央公民館長	<p>8月の教育委員会会議でも報告しましたが、大館市は簡易保険加入者協会より5年間、「健康タウン構想の推進」支援自治体に指定されていますので、NHKの全国放送に出演されている講師の方を派遣していただき、3年前から「みんな元気にラジオ体操 ワンツー・ワンツー！」という事業を実施して、子どもたちがラジオ体操に触れる機会を増やす取り組みを行っています。</p> <p>小中学生及び子ども会の減少、出校日や学校行事との重なりなどもあり、日程と参加者の確保に苦慮している部分もありますが、多くの世代と一緒に楽しめる姿が見られるように、残りの2年間で少しでもラジオ体操の魅力を広げていきたいと思っています。</p>
教育長	<p>ほかにございませんか。</p> <p>ないようですので、議事に移ります。</p>
各課長	<p>(「協議第14号 令和7年度12月補正歳出予算要求の概要について」を、資料により報告)</p>
教育長	<p>ご意見、ご質問等はございますか。</p>
委員	<p>学校管理費の報酬についてですが、1,124万8千円の増額で、人数は支援員45人とコミュニティスクール関係者1人の計46人ということですので、11,248,000を46で割って1人当たりの平均を出してみたのですが、この理解でよろしいですか。</p>
学校教育課長	<p>同一業務の方は同じですが、業務内容や任用期間、勤務日数等で一人一人異なります。全体の平均ということであれば、委員お見込みのとおりだと思います。</p>

委員	ざっくり言うと、今年度は1人当たり平均で年間24万4千円アップ、12か月で割ると月額約2万円アップという理解でいいですか。
学校教育課長	そうです。
委員	承知しました。
教育長	委員ご指摘のとおり、ならすと1人1か月当たり2万円アップということになります。
委員	計算上そうなりますね。
教育長	ほかにございませんか。 ないようですので、その他に移ります。 報告と口頭がありますので、まずは報告の方からお願いします。
各課長	(「第2回市長との政策協議について」を、資料により報告)
教育長	委員の皆さんから何かございませんか。 ないようですので、次に口頭の方をお願いします。
教育研究所長	(「子どもハローワークのきりたんぽまつりでのボランティア活動について」を、口頭で報告)
教育長	ご意見、ご質問等はございませんか。
委員	<p>釈迦内にあるFMラジオおおだてが本日の正午で閉局となりましたが、以前、子どもハローワークを通じて、ラジオ局で子どもたちにパーソナリティ体験をしていただいたことがありまして、やはり職業の幅の広さと体験の深さ、何より子どもたちの非常に意欲的な姿勢に驚きました。</p> <p>それから、みんなのまなびしんぶんで畜産獣医師の職業体験が取り上げられていましたが、実は私の兄も大仙市で畜産獣医師をしております、この業種でも、いわゆるなり手不足が非常に深刻で、それが課題だということをいつも聞かされます。</p> <p>こういった活動を通じて、仕事や労働観、職業観といった幅の広さを体験することで、子どもたちの仕事に対する世界をぐっと広げていってほしいと思います。</p>
教育長	<p>ほかにございますか。</p> <p>では、予定されていた議題については以上で終了いたします。</p> <p>次回開催日程についてお願いします。</p>

<p>教育総務課長</p> <p>教育長</p>	<p>(「来月の開催日程」について)</p> <p>それでは、以上を持ちまして、教育委員会会議を終了いたします。</p>
	<p>会議終了時刻 午後 2 時 3 0 分</p>